



# 碧南ロータリークラブ週報

第2794回例会 平成28年9月14日(水)

- 会長 榑原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・八馬宜久

## ●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ●本日のお弁当

だい忠

## ●本日のお客様

(株)キャッチネットワーク 代表取締役社長 森 雅博様  
名古屋RC 神谷 誠君

## ●本日の卓上花

タカノハススキ、ハニーエンジェル (オンシジウム)

## 記 念 品 贈 呈

名誉会員 平岩慶一様へ、満100歳のお誕生日祝いとして、平岩統一郎会員へお渡ししました。



## 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週1週間、職業奉仕活動ご苦労様でございました。

先週のクイズのお守りの数え方ですが、1体、2体と数えます。ご存知の方もいらしたかと思いますが、知らない人は



榑原 健会長

また1つ利口になりました。

今日もスポーツ関係の話になって申し訳ないのですが、私たちが小さい時には「練習中に水を飲むな」とか「体を冷やしてはいけないので、プールに入るな」とか色々言われました。実は最近ではそれが全く通用しなくなっておりまして、「水分補給は十分にしろ」とか「成長期の子供にうさぎ跳びをやらせるな」というように段々と実態がわかってきております。

先日、サッカーの少年大会を県内、県外を合わせて24チームで行わせて頂きました。こういう時に心配になるのが雷と熱中症です。今までは熱中症の対策があまりありませんでした。ですが、今年からクーリングブレイクというのが導入されました。気温、湿度、グラウンドの状態、風などを考慮して、一定の数値を超えたら休みを設けるといふものです。今年は前後半の15分ずつの内の3分ずつをクーリングブレイクと称して休憩を取りました。その時に水分補給を十分にさせるとともに、テントを張りまして日陰の中で休ませました。おかげで熱中症になることもなく大会をスムーズに運営することができました。

そういう面で気を付けることはできるのですが、他に子供たちが十分なパフォーマンスを発揮するにはどうしたら良いかということで、先日スポーツ医・科学研究所の管理栄養士の先生をお招きして、子供たちにどのような水分補給や補食を与えたら良いかということでお話をして頂きました。そこには指導員80名と親御さんたち120名ぐらいが来て頂きまして、前日からどのような食事をすれば良いかというようなことを教えて頂きました。運動をする2時間前にはどのようなものを補食として食べさせたら良いかということですが、油っこいものはダメで炭水化物と糖分を摂るようにする。1時間前ですと糖分ぐらいで、しかも軽く摂るようにする。そして試合後は少しずつ細目に水分を摂るようにするのが良いそうです。

今日のクイズです。日本の都道府県には数字の付く県が2つあります。1つはお隣の三重県です。もう1つはどこでしょう。

本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- 他クラブの例会変更はございません。
- 9月7日に行いました第3回の理事会の報告を幹事報告書に記載させて頂いておりますけれども、補足説明をさせていただきます。職場例会が10月19日に行われますが、後ほど職業奉仕委員長よりご説明申し上げます。チャリティーバザーについても、後ほど社会奉仕委員長よりご説明申し上げます。ロータリー希望の風奨学金の支援協力でございますが、昨年度同様1人1,000円の71,000円を一般会計より供出させていただきますので、よろしくお願い致します。指名委員会の選任についてですが、原案通り7名の方の指名をさせていただきます。10月12日に指名委員会を開催する予定でございますので、よろしくお願い致します。



新美惣英幹事

- ・ ガバナー補佐杯の案内が届いております。後ほどゴルフ部会よりご案内を申し上げます。
- ・ 豊橋ゴールデンロータリークラブより幹事変更のお知らせが届いております。

## 委員会報告

### <出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 18 名の内出席者 15 名)出席者 62 名	
出席対象者 62/68 名	出席率 91.18%
欠席者 9 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 山中 寛三君 敬われるほどの価値のない年寄りを敬う日を祝って下さって、有難うございます。
- 加藤 良邦君 去る 9 月 10 日、藤関会員に大変お世話になりました。
- 杉浦 勝典君 9 月 8 日、RC ゴルフ部会のコンペにて優勝出来ました。ありがとうございます。
- 黒田 昌司君 年 1 回の重大行事、無事終えることができました。関係各位に感謝。
- 新美 宗和君 いよいよ「第 33 回歌と舞の祭典」が、今月 25 日(日)文化会館で開催されます。ぜひ見に来て下さい。僕も女房も歌います。
- 木村 徳雄君 先日、鈴木並生氏、黒田昌司氏、竹中誠氏、藤関孝典氏、鈴木泰博氏には大変お世話になりました。
- 伊藤 正幸君 10 月より教育委員に就任いたします。御指導よろしくお願い致します。
- 清澤 聡之君 先週は、碧南市スカウト育成連絡協議会に助成賜り、ありがとうございます。
- 竹中 誠君 楽しい旅ができました。
- 山中 寛紀君 先週頂いた結婚記念日のケーキ、調子にのって食べすぎたら体重あつと言う間に 1kg 増えてしまい、折角この夏苦勞して減らした 21g は何だったのかと反省しきりです。
- 服部 弘史君 本日の講師、株式会社キャッチネットワーク代表取締役 森雅博様を御紹介させていただきます。森社長様、本日はよろしくお願い致します。
- 岡本 耕也君 先週のゴルフ部会には私の判断の甘さから、雷による 14 番打ち切りということにもかかわらず、一人のキャンセルもなく参加して頂き、ありがとうございました。

「キャッチネットワークの働き方」

㈱キャッチネットワーク 代表取締役社長 森 雅博様



森 雅博様

皆様、こんにちは。キャッチネットワークの森でございます。

本日は皆様の貴重なお時間を頂戴し、誠にありがとうございます。

先輩の方がたくさんおられるということで緊張しておりますけれども、決して生意気なことを言っとるなどは思わずに、こんな考え方もあるというようなところで聞いて頂ければと思います。また、キャッチネットワークのことをあまりご存知ではない方もお見えになると思いますので、最後に簡単にまとめた映像を見て頂こうと思います。

私どもキャッチネットワークは、まちのテレビ局、ラジオ局、通信のインフラ企業、インターネットのサービスプロバイダ企業、固定・携帯の電話のサービス会社というような多彩な顔を持っております。

先ほど、私の略歴の紹介をして頂きましたけれども、もう少し自己紹介を追加したいと思います。ご紹介して頂いたように 1980 年に豊田自動織機に入社をして、繊維機械の営業に 20 年ほど携わりまして、日産自動車の繊維機械事業を買い取るための仕事にも携わりました。結果的には日産テクシスという会社の消滅に立ち会うなど、今に生きる経験ができました。その後、子会社の社長を 3 年ほどしましたけれども、デザイン会社というサービス業の会社でしたので、メーカーの人間としては大変貴重な経験となりました。その会社に赴任して 3 ヶ月目に会社の資金が行き詰って、社員の給料が払えなくなりました。豊田織機からの指示で当時の東海銀行から融資を受けることになるのですけれども、銀行からは融資条件として社長の個人保証を突き付けられて、ぬるま湯に浸かってきた一般サラリーマンには非常に衝撃的な世間の常識との遭遇でした。その後、豊田織機が新事業としてトヨタ生産方式を使った物流事業を始めることになりまして、そこに参画しました。トヨタ自動車から来られたトヨタ式の達人に教えを乞うて、トヨタの考え方で物流改善や店舗改善あるいは合弁で物流会社を創るなど、これまた貴重な経験をさせて頂きました。

そんな中でスーパーのイトーヨーカドーからトヨタ生産方式を勉強したいという要望が出されて、豊田織機が店舗改善というテーマでコンサルティングをすることになりました。イトーヨーカドーの店舗改善という活動は、当時トヨタ式の考え方がサービス業に通用するのかという関心を引いて、東京大学の藤本教授が研究に乗り出されたり、日本経済白書に掲載されたりするなど、少し注目されたプロジェクトでした。

トヨタ式あるいはトヨタ生産方式というと乾いたタオルを絞るようなイメージや様々な改善手法などのテクニックが話題になりますけれども、究極のところでは合理に基づいて正しいことを行う、理不尽はしない、三方よしの精神など、あるべき姿を追求するところにその本質があるというのが私の最終的な理解です。

日本の仕事の仕方の問題点という見方をしてみたいと思います。昨年の 9 月に株式会社ワーク・ライフバランスの小室淑恵社長にキャッチで講演をして頂きました。小室さんのお話

が今まで漠然と感じていた日本の仕事の仕方の問題点をうまく整理してくれましたので、少し紹介したいと思います。現在は中国に抜かれてしまいましたけれども、日本が世界第2位の経済大国になるのには、人口ボーナス期と長時間労働の賜物であって、時間当たりの労働生産性は先進国中最下位という小室さんのお話が心に響きました。やはり日本の仕事のやり方はおかしかったのだなということが腑に落ちたということです。人口ボーナス期とは、ある社会が多産多死の社会から少産少死の社会に切り替わる際に人口構成比の子供が減り、生産年齢の人口が多くなった状態で、高齢者が少なく、労働者が豊富なため社会保障費が嵩まず、経済発展しやすい条件が揃っている時期ことです。現在の中国・韓国・シンガポール・タイがそれに当たります。日本は1960年頃から始まり、1990年代半ばに終わりました。小室社長のお話では日本が世界第2位の経済大国になれたのは、人口ボーナス期とともに長時間労働を主原因として挙げておられるのですけれども、私が注目したのは日本の単位時間当たりの労働生産性がOECD加盟国中22位、つまり先進国で最下位クラスという点です。過去に遡っても同様の位置にいるということです。やはり日本人の働き方には問題があるのだなということです。しかし、正しい仕事の仕方に変えれば生産性は大幅に改善できるとも言える訳ですから、しっかりとこの問題を認識する必要があると思います。なぜ間違った仕事の仕方を続けているのかと考えると結局は管理・監督者や経営者の問題に行き着くことになります。

最後に仕事への取り組み方の感覚みたいなこととお話して終わりたいと思います。私事ですけれども、この5月で豊田織機を退職となりました。またニュースにもなりましたが、セブン&アイの鈴木敏文会長が退任騒動を起こしている時に村田紀敏社長も一緒に退任されることになったものですから、最後のご挨拶をするつもりで6月のセブン&アイの株主総会の数日前に村田社長を訪ねて、1時間ばかり雑談をして参りました。村田さんからは色々あったけれども、トヨタ式の店舗改善は最も印象に残る仕事だったので、関係書類は処分せずにもう1度読み直そうと思っているというふうに言われておりました。トヨタ式の本質をご理解されたお1人だと思っているのですけれども、その村田さんから以前に聞いた話が思い出されました。それはセブンイレブンの強さを話題にした時の話です。村田さんからは「セブンイレブンはローソンやファミリーマートに勝つことを目的にはしていない。常にお客様を見ているんだ。常にお客様と向き合っているつもりだ。お客様が求める最高の商品を提供することを目標としていて、ローソンやファミリーマートの商品をベンチマークにしている訳じゃないんだ。」と。これじゃあローソンもファミリーマートも勝てるはずはない、そして仕事に向き合う時の基本姿勢はこれだなというふう感じたことを思い出しました。皆様にも何かを感じ取って頂ければと思います。

本日はご静聴ありがとうございました。

## 次回例会案内

平成28年9月28日（水）

卓話「毎日の食事こそが薬」 料理研究家 鶴田三起氏